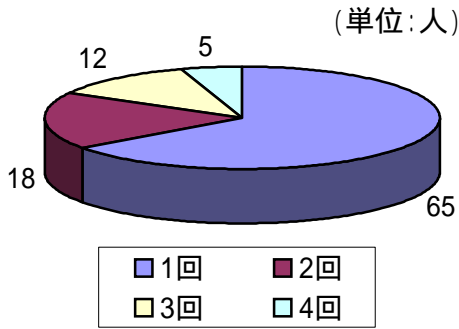
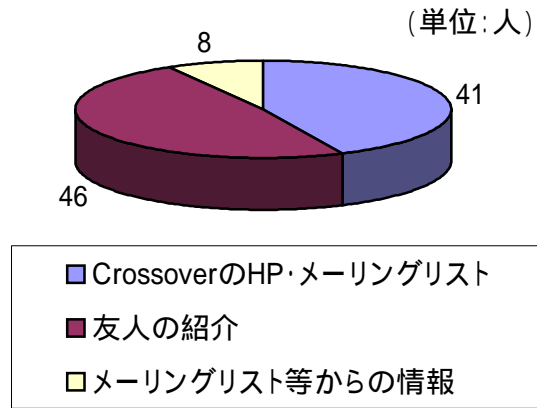


# Crossover21 Vol.5 参加者アンケート 取りまとめ結果

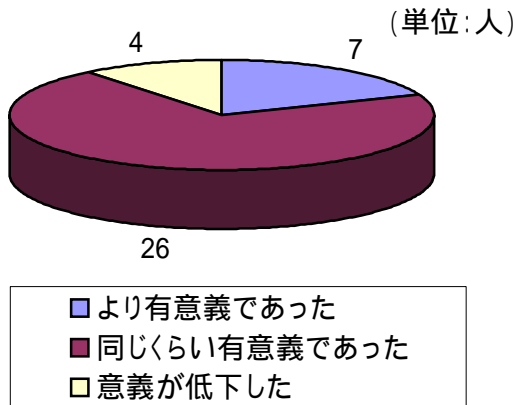
Q1 今回は何回目の参加ですか？



Q2 Crossover21 をどのようにして知りましたか。



Q3 二回以上参加された方に伺います。今回は前回までと比べて如何でしたか？



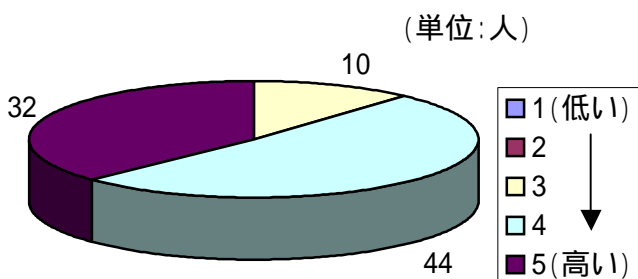
意義が低下した理由

- ・目的が昔より具体性を失ってグループが構成されていたから。
- ・ディスカッションのテーマが曖昧で、うまく話がまとまらなかった。
- ・第一部の時間が短いことや、挑戦者の方達の説明が短く、テーブルを選択するのが難しかった。

意義が向上した(同じくらい有意義であった)理由

- ・これまでよりもディスカッションの時間が長く設けられていて良かった。
- ・ディスカッションでは結論は出ないが、色々な方の意見が聞けて、幾つかヒントも得た。
- ・挑戦者の話、ということで、2セット意見交換できたのが、特に有意義だった。
- ・「挑戦者」の経験に基づいた話が感動した。但し、時間が短い。
- ・日ごろ知り合う機会のない人と会う事が出来るから。

Q4 (1)冒頭 スタッフからのプレゼンテーションの分かりやすさ・意義等について

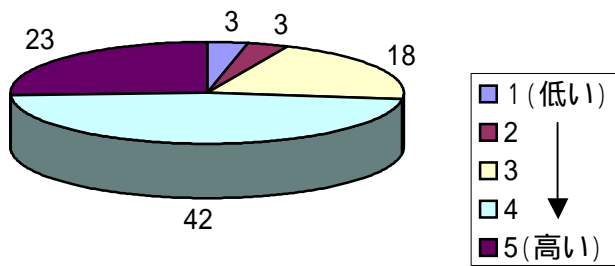


主な理由(カッコ内の数字は評価)

- ・プレゼンを聞けば理解できたのだが、「政策市場」という言葉はやや難しく、もう少し簡単な表現する工夫が必要(3)
- ・分かりやすかったです。せっかくなので、前年から本年にかけて、どのような実績があったのかも触れて頂きたかった。(4)
- ・日本の江戸時代の政策市場のあり方(永代橋)を通じて、様々なプレイヤーを織り込む政策形成のあり方の必要性を理解することが出来た。(5)

(2) 「挑戦者」からのプレゼンテーション・質疑応答の意義、満足度について

(単位:人)

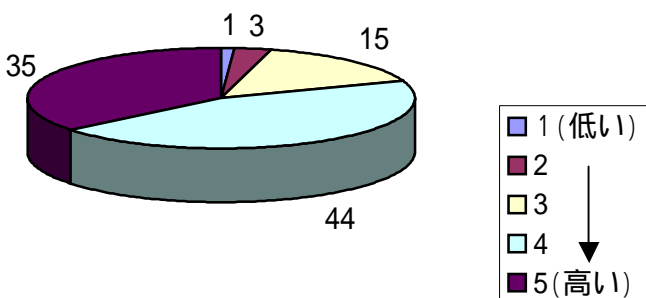


主な理由(カッコ内の数字は評価)

- ・挑戦者が何を話しているのかが、分からないでいるようであった。また時間も短すぎた。(1)
- ・時間が短すぎた。(2)
- ・挑戦者全てのプレゼン(3分間くらい)で聴いた上で、テーブルを選択できると良かった。(3)
- ・色々な分野の話が聞けてよかった。様々な分野のプレゼンを用意することはとても重要だと思った。(4)
- ・挑戦者の経験に基づいた熱い話が聞けて有意義であった。(5)
- ・ハチミツがうまかった。(5)

(3) グループ・ディスカッションの意義、満足度について

(単位:人)

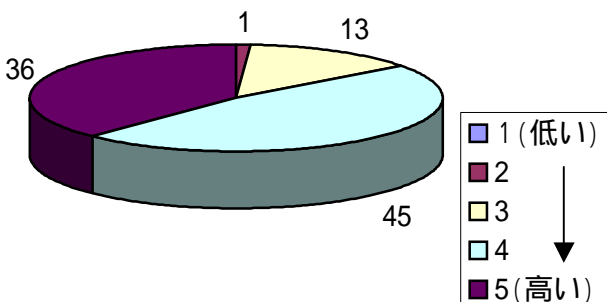


主な理由(カッコ内の数字は評価)

- ・テーマが大きすぎるため、雑談になりがちだった。(1)
- ・Agenda(議題)の設定がなかったため、議論がまとまらなかった。(2)
- ・参加者の興味・関心等に基づいてグループ分けが予めされていたら、もっと良かったのではないかと。あるいは、プレゼンテーションのグループをそのままにして、ディスカッションを行ってもよい。(3)
- ・ディスカッション進行の冒頭に各人が参加した動機、どのような問題意識があるのか、確認したほうが良い。(3)
- ・テーマが広がったので、議論というより意見発表になってしまった気がするが、色々な分野の方の意見を聞くことが出来て大変有意義であった。(4)
- ・色々な意見(現実的なものも含め)が、様々な立場の参加者から出され、非常に興味深かった。より色々な方やグループとお話出来たらより良い。(5)

(4) 総合的に見た、Crossover21 Vol.5 の意義、満足度について

(単位:人)



主な理由(カッコ内の数字は評価)

- ・持ち帰るもことの出来るものが増えるようなディスカッションを希望する。(2)
- ・もう少し、高い頻度で何かしらのイベントを行ったほうが、継続的な力を発揮できるのではないかと。(3)
- ・思ったより公務員が少なく、色々な立場の人が集まっていて意義は高い。(4)
- ・普段は全く異なるフィールドで活動している人たちに出会えた。(4)
- ・日本の若い人達もいろいろと考えていることが分かり励みになった。(4)
- ・時間があっという間にたってしまったが、自分が何をすべきかを考えるきっかけとなった。(5)
- ・普段、中々触れることのない人々・話題が、とても刺激になった。是非また参加したい。(5)
- ・問題意識を持った者が「集う」という意味で、政策市場の実現に向けて役割は大きい。(5)

Q5 今後、Crossover21に期待すること。(主なご意見)

- ・フリートークキングの仮想空間(いつでもどこでも誰でもO.K)な場の提供
- ・様々な方々への出会いと、お互いの問題意識を教授し合う場(懇親会、サークル、出版)
- ・定期的に参加したいので継続すること。
- ・様々な行動が起こる基盤となる"場"の提供。人と人をつなぐことは言うは易いですが、難しいと思います。期待しています。
- ・冒頭のプレゼンテーションで例示されたような行政・NPO等のアクターに的を絞って、もう少し少人数で一つテーマで互いの立場を明確にしたり、接点を見つけたりといったワークも面白いのではないかと。
- ・継続することが大切だと思う。引き続き頑張りたい。
- ・政策市場そのものの議論もさることながら個別のテーマについても議論してみたい。
- ・議論を通じて、様々な問題は、政府だけでなく、会社の組織にも当てはまることが多く、参考になる。
- ・初めての参加だったが、思ったより固くなくて楽しめた。参加者も幅広く、学生もいて普段お話しできない方達とも話が出来、視野が広がられたので、今後もこのような人脈を続けて欲しいと思う。
- ・今後も引き続き活動してもらいたい。こういう機会が年に一回くらいあることは有意義だと思う。
- ・年1回ではなく、二~三回程度の開催と継続的な情報発信、成果報告、課題発信などが必要。
- ・議論も重要だが、これをまとめて成果物を生み出す活動をしたほうが良いと思う。
- ・官民協働の実例を基に、ケーススタディ等がディスカッションできれば良いと思う。
- ・分科会など気軽に参加できる機会が増えればよい。
- ・グループディスカッションで話し合う事をもう少し具体的にしてほしい。
- ・ここで議論したものを世間に反映できるようにしてほしい。
- ・これだけの知力が集まっているのだから、実際に案を残してほしい。政策づくりの場として提言したものをHPにUPするなど。
- ・ディスカッション内容や当日の流れを前もってメールで送信しておくのもよいと思います。
- ・忙しいとは思いますが、是非継続してもらいたい。5年、10年、是非やりましょう！

Q6 Crossover21が目指す理念「政策市場」について、お考え等。(主なご意見)

- ・「政策」といった時に、大きなことなのか(年金改革など)、小さなことなのか(地域の街づくりなど)がもう少し分かりやすければ、と思う。
- ・もっと平易な表現に出来ないか。一般の人に説明しても理解するのは難しい。
- ・改革は上から行われるものではなく、沸きあがってくるもの。その後押しになれると良い。
- ・日本人の考えや、国民性を踏まえ、成功する可能性はこれからの動きでとても大きいと思う。頑張ってください。
- ・政策市場が創造されることで誰が幸せになるのか疑問。
- ・課題は何か、解決策は何か、について優先順位をつけてより具体化すべき。
- ・政治・行政以外で政策を作ることは、これからの学生にとっても有意義だと思う。
- ・多くの人が政策を他人任せにしている現状があると思うので、個人個人が自分達の問題として考えさせる政策が必要であると思いました。
- ・テーマとしては賛成できたがなかなか具体的なディスカッションになりにくかった。「政策」で食べていける場 = 政策市場の形成かもしれない、と鈴木さんのお話を聞いて思った。
- ・個人的には難しいテーマだと思ったが、今まで考えたことのないテーマだったので、良い刺激を受けることができた。今まで政治には興味があるほうだと自分で思い込んでいたが、いざ考え直すと、自分の意見がないなと、改めて実感した。
- ・コンセプトとしては非常に共感するが、どのように具体化するのか。
- ・政策市場を創造するには、議論を開くことによる情報の流通、それと教育の要因が大きいと考える。キーワードを変えつつも、精神と人的交流を長く続けることが必要ではないか。
- ・如何に多くの人を巻き込んでいけるかが課題だと思う。
- ・協働の絵は綺麗に見えるが、具体的にこれを実行する仕掛けを練れるとよい。但し、根本の「政治」「行政」のシステムが形骸化したままでは、ここがボトルネックとなってしまうのではないかと。
- ・アメリカのような政策市場を創るのは難しいと思った。しかし、日本独自の政策決定プロセスを再構築することが可能ではないか、とも考え、それに気付いたことが今回の会の意義であった。
- ・買い手の創出が必要。final consumerは国民だとしても、その途中の買い手(行政庁、その施策の受益者、業界団体)のマインドを変えるのが困難ではないか。
- ・政策市場の考え方は、公共政策大学院の学生であれば全員共有できると思う。あとはそれを如何に現実に反映していくかが問題になると思った。
- ・いかに全員参加型を実現するかが大切だと思った。
- ・専門性の壁、互いの信頼感、結果に対する責任、そういったものがポイントになるのではないだろうか。
- ・この市場をつくるには、まず、情報の非対称性を打破しないといけないと思う。そうでないと、完全市場にならな
- ・"市場"に参加するモチベーションをどう引き出すかが今後のポイントになりそうな気がします。

アンケートの取りまとめ結果は以上です。

当アンケート結果は今後のCrossover21の活動・運営の参考にしてまいります。ご協力有り難うございました。